











# 年始雑感 蚯蚓の独り言(共存しようよ)

会長 佐藤 勉

人類、あなた達は至福の境地を追求するあまり己をこの世の中心に置き、自然界を支配し全てを牛耳ることが出来るものと思っているのですか。その傲慢不遜な振舞いが吾々にとってはとても気掛かりなのだ。

自然界の動植物は互いに競争し、いがみ合いながらも自然という大きな循環の輪を認め自然を破壊することなく、しかも個々の役所を弁えて生態系を見事に調和しながら命の営みを続けているのですよ。人類だけがどうしてこの循環をないがしろにして資源を食い潰し枯渇させてまで至福を追求しようとしているのですか。

#### "人間は自然の中心にあらず"

人間己が自然の中心だと考えて動植物個々の役所を断ち切り、神の配慮と思われる領域にまで入り込み至福を追求し続けようとする考えは種の滅亡、強いては吾々生きものの絶滅を引き起こし、やがて人類自身も滅亡の道へと進むことになるのではないですか。

吾々との共存にこれ程鈍感になっている人類 の行動これこそが快適便利を標榜する人間文明 の暴走というべきなのだ。

人類は欲望なしでは生きられない動物なのだろうが、しかしこの欲望こそが無限の私利、私 欲を掻き立て、多様な動植物の生存基盤を軽んじ「自制心」という「見えざる心」の活動を止め、やがて種の滅亡を引き起こすことになるの

だろう。

至福という欲望が人類文明発展の源である一方、自制なき自然支配が自然を破滅させる要因でもある現象の矛盾を解決するには、自然界の多様な生物相互の役目を認め合い、人類独り勝ちの行動を改め、生態系を乱すことなく自然と折り合って行く方法しか解決し得ないのではなかろうか。

吾々から見える現世の人間社会でも他者を認め合おうとしない自己中心の利益追求や、蝸牛角上の争いによる支配感覚は枚挙に遑がない。 これも人間社会相互の多様性を無視した人倫欠如の社会なのだろう。

自然と共存出来る環境へ軸足を戻す道程は、一筋縄で行くものではないし成果が見えてくるには相当のスパンが必要かもしれない。しかし、人類がやがて衰退の道を進むような負の道を断ち切るには人間中心という思い違いを捨て、人類の全ての能力を出し合い自然の動植物と共存してゆく行動に転換することこそが現代人類に与えられた道ではないだろうか。

全知全能のホモサピエンスよ

『消えかかるローソクの再生に取り組もうでは ないか、まだ遅くない、大丈夫出来る』 哄笑する勿れ。

吾々「ミミズ」族も陰に陽に出来る限りの応 援をするさ。

Nowhere, 編 会 カ ٤. 山 1 新 山 集里山 ン 基 ħ に P 成 長 収 ふ親 成 収 広保総 .ک 0 世 パ 支予算 29 年 21 ٤ あ 親 ス 年 支 報 務 28 山 P シシとシカと私 成29年役員名 n L n L 護 挨 代 5 しむ の あ の ラ の 私 挨 あ ť を あ ť 部 部 部 年 į, 目 のクマ」につ 森便 , Now カ 숲 h 拶 の Į, 部 活 振 監 į, 部 会 活 自 会 会則 ル が 森 の 会 動 h 杳 の 動 次 とう 1 か 森 計 返 森 報 here 護 部 画 部 告 て 会 会 ž た て ( ) ŧ L 星 相 前 忍 頂須崎 藤 渡 澤 藤 田 寺 晃 尚 恒 文 男 嗣 子 泉磨夫 勉 28 28 26 25 24 22 20 19 17 15 14 13 12 12 11 10 10 8 7 6 5 4 2



# 総務部会報告

- 1月25日:仙台市ホームページの「蕃山の説明」で読み違えがあり訂正を仙台市広報課電子広報係に依頼しました。
- 1月27日:仙台森林管理署より、「ふれあいの森」の年間活動報告書、年間活動計画書、入林の連絡書を提出するように送付され、3月25日に提出しました。
- 2月6日:宮城県農林水産部森林整備課主催の「平成27年度みやぎ森林保全推進活動研修会」に 1名参加しました。
- 2月14日:総会を開催、その後「森は海の恋人」「雲居国師と五郎八姫」を上映しました。
- 2月18日:仙台市ボランティアセンターより、「平成28年度ボランティア市民活動状況調査書」 が送付され、2月22日回答書を提出しました。
- 3月3日:仙台森林管理署より、「ふれあいの森」の協定更新についての関係書類が送付され3 月12日、臨時役員会を行い協定を継続することにしました。
- 4月3日:大梅寺のイノシシ防護柵設置作業に6名参加しました。
- 4月21日:仙台市折立市民センターより、「蕃山の自然トレッキング」開催に講師派遣要請があり、 6月4日5名参加しました。
- 5月17日:宮城県自然保護課より、県のホームページ「みやぎ自然ふれあい情報の森」掲載要請があり、6、7月の行事予定を提出しました。
- 6月3日:宮城県農林水産部森林整備課より、「みやぎ森林保全推進活動における森林巡視の強化について(依頼)」が送付されました。
- 6月3日:仙台市立折立小学校より、6月15日(水)3年生、4年生約100名の蕃山登山の要請がありましたが、前日雨天のため中止となりました。
- 7月8日:宮城県自然保護課より、8月5日(金)「世界谷地湿原保全作業」についての依頼があり、7名参加しました。
- 7月13日:宮城県自然保護課より、県のホームページ「みやぎ自然ふれあい情報の森」に掲載要請があり、8、9月の行事予定を提出しました。
- 8月23日:社会福祉法人仙台市社会福祉協議会より「せんだいボランティアミーテイング」の開催案内があり、9月23日1名参加しました。
- 9月6日:宮城県自然保護課より、県のホームページ「みやぎ自然ふれあい情報の森」に掲載要請があり、 $10\sim12$ 月の行事予定を提出しました。
- 10月28日:仙台市立折立小学校より、11月9日(水)1年生、6年生約90名蕃山登山の要請があり、 6名参加しました。
- 12月4日: 宮城県自然保護課より、県のホームページ「みやぎ自然ふれあい情報の森」掲載要請があり、29年1~3月の行事予定を提出しました。

# 保護部会報告

1 ここ1年の保護部会の活動は、昨年報告した「蕃山違法伐採」についてなされた仙台市の原状回復命令の実施状況の確認が主たる活動でした。しかし、現地での保護部会としての活動はできず、親しむ部会などの現地確認の報告を聞く程度となりました。

現状回復命令は、違法伐採をした業者が、命令により植林をする作業を計画に従って行うものですが、植林による回復には限界があり、自然の力による回復は力強く確実なようです。

宮城県による監視体制(ヘリコプターによる伐採監視、ウェブサイトによる県内の林地開発許可状況の公開)も確実に実施されています。

2 昨年計画した、蕃山の保護レベルのアップ(緑地環境保全地域から自然環境保全地域への移行など)、マスコミとの連携やシンポジュームの開催の実施などはまだ行なわれていません。

蕃山のナラ枯れの問題は、一部の木の伐採などが行われました。

宮城県の現状を踏まえた森林の問題に焦点を会わせたシンポジュームも開催できませんでした。 今年は、これらの課題に少しでも取り組めればと思います。

# 広報部会報告

- 1 平成28年3月1日 会報「蕃山の四季」第47号を発行しました。 全会員、蕃山近隣、市民センター、小学校等に発送、配布しました。
- 2 ホームページ公開から早一年がたち、未だ充実したものとは言えませんが、親しむ部会、ふれあいの森部会の月々の活動記録を掲載し、ホームページを通し、広く多くの方に、蕃山21 の会をアピールし、見て楽しいホームページを目指しました。

蕃山21の会のホームページアドレス

# http://banzan21nokaihp.wix.com/save-banzan



トップページ

# 親しむ部会 活動報告 (平成28年)

月日	一 般 行 事	参加人数	下見
1月1日(金)	初日の出参拝	約90名	_
3月13日(日)	五社山(樽水ダム駐車場―五社山往復)	34名	1/8
4月10日(日)	蕃山(白滝-百年の森―山岸)	25名	3/8,4/6
5月15日(日)	三方倉山(シロヤシオコース―山頂―ブナ平)	23名	5/2
6月12日(日)	泉ヶ岳(表コース―山頂―滑降コース)	17名	6/7
7月10日(日)	蕃山(茂庭台―山の神―開山堂―綱木沢―茂庭台)	20名	7/1,7
8月21日(日)	奥新川(奥新川遊歩道)	19名	8/13
9月11日(日)	氾濫原(桑沼—大倉山—氾濫原—桑沼)	18名	9/2
10月2日(日)	岩元山(ふれあいの森散策と芋煮会)	24名	_
10月16日(日)	蕃山(茂庭台―萱ヶ崎山―西風蕃山―47番鉄塔)	19名	10/7
11月13日(日)	ふるさと緑の道(秋保大滝―練田峠往復)	18名	11/2
12月11日(日)	蕃山(黒滝―蛇台蕃山―西風蕃山―開山堂―栗生中)	18名	11/30

#### 〈一年の活動を振り返って〉

- 1月:昨年同様、今年も穏やかな初日の出を見ることができました。
- 3月: このコースは、前年に何度も歩き、駐車場からのルートを見つけることができたので、案内することにしました。春の妖精に出会うには早すぎましたが、足下では着々と準備が整っていました。昔は車が通ったと思われる作業道も、今では崩れがひどく、危険な箇所が数カ所ありました。
- 4月:白滝不動には、トウゴクサバノオがたくさん咲いていました。百年の森では見頃のカタクリを、西風蕃山では白花カタクリを堪能した一日でした。また、違法伐採地でもカタクリがあちらこちらに咲いていました。
- 5月:雲一つない五月晴れ、シロヤシオが満開でうれしくなりました。ミヤマハハソ、ヤシャビシャク、キバナウツギ、シウリザクラ、コヨウラクツツジ、ムラサキヤシオなどが印象に残りました。
- 6月:表コースでギンランを5株見ましたが、残念なことに盗掘跡の多さにがっかりしました。山頂は薄曇りで、蔵王や船形山を見ることはできませんでしたが、満開のズミが出迎えてくれました。
- 7月: 違法伐採地では、二ガイチゴの実がたくさんあり味見をしました。ジュウイチやウグイスが鳴き、オカトラノオやヒヨドリバナが咲きそろい、吹き抜ける風が心地よい日でした。
- 8月:夜から朝にかけて雨の降る日が続いていましたが、当日は台風一過後のような青空になりました。気温 も36度と高かったのですが、外気温の高さとは無縁に木立の中や水の流れに沿って涼しく歩きました。
- 9月:カツラ、オヒョウ、ハルニレ、サワグルミ等の大木の中で、サラシナショウマが咲いていました。水量が多く安全にわたれる場所を探して、3ヶ所渡りました。クロべとアスナロの違い、覚えていますか。
- 10月: 芋煮会は天気に恵まれ、芋煮ができるまでの間、岩元山歩きとふれあいの森散策に分かれて楽しみました。食事後は、仙台弁の語りと歌、川柳で和やかに過ごしました。
  - : 山の神から登り始めると、進むごとにナラ枯れした樹が目につき、マツ枯れに続きナラ枯れの被害が急速に広がっていることが気になりました。天気も良く、萱ヶ崎からは青麻山、あけら山そして不忘山から熊野岳まで蔵王の山脈を見ることができました。
- 11月:夏の天候と気温のせいか、鮮やかな紅葉は望めませんでしたが、山中では"ゴールデンオータム"という言葉を連想させるほど美しく輝いているところがありました。林道は広かったのですが轍がひどく、また登山道では崩れかかっているところが3カ所ありました。
- 12月: 黒滝の急坂を登り蛇台蕃山に到達。例年になく早くも降り出した雪を被ったササが美しく、雪の蕃山歩きとなりました。



トウゴクサバノオの花



トウゴクサバノオの実



山岸コースに出たカエンタケ

# ふれあいの森部会 活動報告 (平成28年)

月日	作業内容	参加人数
4月5日(火)	林内の状況把握等 林内の状況を把握するとともに沢の流木等を 片付けた。	11名
4月25日(月)	沢沿いの道の整備他 沢の両岸のササを刈り、遊歩道を整備した。	12名
5月17日(火)	雨天中止	_
5月24日(火)	林道補修等 林道補修とサクラ植樹地の柵内を整備した。	8名
6月13日(月)	雨天中止	
6月19日(日)	モミジ平等の整備 モミジ平の整備とサクラ植樹地の下草刈りを した。	8名
7月5日(火)	ササ刈り他 サクラの柵を外すとともにシャクジョウソウ、ヒメ シャガ等を囲った。	11名
8月2日(火)	草花の保護 クルマユリ、アケボノソウ等を囲った。	8名
8月22日(月)	ササ刈り他 第一伐区のササ刈りをするとともに遊歩道を整備し た。	7名
9月12日(月)	下草刈り他 林道入り口からサクラ植樹地(駐車場付近を含む) までの草刈りをした。	9名
9月30日(金)	遊歩道の整備他 第一、第三、第五伐区の遊歩道の整備を行った。	11名
10月2日(日)	散策と芋煮会 自然観察、芋煮会。	24名
10月24日(月)	ササ刈り他 第一、第三伐区のササ刈りをした。	8名
11月7日(月)	ササ刈り他 第一伐区のササ刈りと石拾いおよび第五伐区のササ刈りをした。	13名
11月18日(金)	ササ刈り他 第一伐区 (クリ園) の石の掘り起こしと第三伐区 (カッラ) のササ刈りをした。	12名

#### 〈作業報告〉

- ◇モミジ平の整備(新しく生えた笹の刈り払いや倒木等の片付け)をした。
- ◇沢沿いの遊歩道を整備するとともに、沢にかかる倒木や枯れ枝などを片付けた。スナヤツメがいた。
- ◇二カ所あるサクラ植樹地のうち、西側の植樹地の柵を外した。
- ◇昨年、柵で囲ったクルマユリやギボウシ、アケボノソウなどを注意深くよけながら第一伐区から第七伐区までのササや下草を刈った。刈り払いは、第一伐区以外は10月から11月にかけて行った。
- ◇クルマユリが十数株見られるようになり、サワギキョウも一株咲いていた。
- ◇カタクリがますます増え、ヒメギフチョウが10頭ほど見られるようになり、また、ザイフリボクが 咲くなど年毎にいろいろな花が咲くようになり、良い森になってきたと思う。
- ◇反面、参加者が何年も変わらず、平均年齢が75歳を超えるようになり、無理な作業ができなくなってきた。多くの会員の参加をお願いします。



スナヤツメ



ニホンカモシカ

# 平成28年収支報告

自:平成28年1月1日 至:平成28年12月31日

前年繰越金 580, 210円 収入の部 304, 011円 支出の部 288, 072円 次年繰越金 596, 149円

収入の部 (単位:円)

項目	今年予算	今年実績	内 訳
前年繰越金	580, 210	580, 210	
年 会 費	130,000	126,000	1名 @1,000
カンパ	100,000	94, 389	
親しむ部会参加費	50,000	55,400	行事参加料
ふれあいの森部会参加費	20,000	21,000	行事参加料
雑 収 入	100	7, 222	折立市民センター講師料・受取利息
合 計	880, 310	884, 221	

支出の部 (単位:円)

項目	今年予算	今年実績	内 訳
総 務 部	50,000	17,707	総会資料コピー代等
保護部会	100,000	0	
親しむ部会	40,000	43,503	保険料、写真代,下見代等
ふれあいの森部会	70,000	61, 566	草刈機使用料、蜂駆除費用等
広報部会	140,000	128,600	会報発行費用、送料手数料等
事 務 局	20,000	12,696	通信費、案内状送料、コピー代等
会 議 費	20,000	24,000	会場使用料等
予 備 費	440, 310	0	
次年繰越金	0	596, 149	
合 計	880, 310	884, 221	

上記の通り報告致します。

平成29年1月12日

総務会計 二村信せ



# 平成28年監查報告

当会平成28年の収支報告書に関する関係諸帳簿について監査した結果、正確かつ適切に処理していることを確認したので報告いたします。

平成29年1月12日

監事 及川晴雄





1月1日 初日の出参拝



4月10日 蕃山(百年の森)



6月12日 泉ヶ岳





**3月13日** 五社山



**5月15日** 三方倉山



7月10日 蕃山(開山堂)





8月21日 奥新川



**9月11日** 氾濫原



10月2日 ふれあいの森 芋煮会



10月16日 蕃山(萱ヶ崎山)



12月11日 蕃山(開山堂)

11月13日 ふるさと緑の道

# 親しむ部会 活動計画 (平成29年)

月日	集合場所・時間	行事名およびコース
1月1日(日)	開山堂 6:40	初日の出参拝
3月26日(日)	ビオトープ駐車場 9:30	蕃山 山岸一萱ヶ崎山—違伐地—開山堂—栗生中
4月23日(日)	樽水ダム親水公園 駐車場 9:30	五社山 駐車場—五社山往復
5月20日(土)	サイカチ沼第一駐車場 9:30	サイカチ沼 サイカチ沼西部周遊
6月25日(日)	茂庭台市民センター 駐車場 9:30	蕃山 山の神―ウナギ沢―西風蕃山―萱ヶ崎山
7月23日(日)	秋保工芸の里駐車場 9:30	北山 秋保工芸の里―北山往復
8月27日(日)	グリーンピア岩沼 駐車場 9:30	グリーンピア岩沼 グリーンピア岩沼散策
9月24日(日)	ビオトープ駐車場 9:30	蕃山 栗生1丁目―開山堂―蛇台蕃山―錦ヶ丘
10月15日(日)	ふれあいの森駐車場 9:30	芋煮会と散策 岩元山、ふれあいの森散策後、芋煮会
10月22日(日)	太白山自然観察の森 駐車場 9:30	太白山 自然観察の森—太白山往復
11月19日(日)	サイカチ沼第二駐車場 9:30	サイカチ沼 サイカチ沼東部周遊
12月10日(日)	茂庭台市民センター 駐車場 9:30	蕃山 馬越石―山の神―開山堂―萱ヶ崎山―梨野

平成30年予定		
月日	集合場所・時間	行事名およびコース
1月1日(月)	開山堂 6:40	初日の出参拝

※行事参加費(保険料含む)

会員:300円 一般:500円

芋煮会参加費:1,000円

※持ち物

昼食、飲み物、雨具

※登山及びハイキングに適した服装と靴

#### 参加申し込み

忍頂寺

Tel • Fax 022-372-7062

※電話は、19時~21時の間にお願いします。

# ふれあいの森部会活動計画(平成29年)

月日	作 業 内 容
4月4日(火)	遊歩道の整備と下草刈り他 第一、第三、第五伐区の倒木や石を片づけるとともに遊歩道を整備する。
4月21日(金)	沢沿いの道の整備他 沢の両岸の笹を刈り、遊歩道をつくる。
5月16日(火)	ササ刈り他 第一伐区のササ刈りをするとともに遊歩道を整備する。
6月12日(月)	ササ刈り他 第一伐区の刈り残しのササ刈りをする。
7月14日(金)	ササ刈り他 第七伐区のササ刈りおよび枯損木等の片付けをする。
8月29日(火)	ササ刈り他 第一伐区のササ刈りをするとともに遊歩道を整備する。
9月11日(月)	下草刈り他 駐車場の草刈りと第一伐区の残りのササ刈りをする。
9月29日(金)	沢周辺の整備他 クリ拾い、沢への出入り口等の整備を行う。
10月15日(日)	散策と芋煮会 自然観察、芋煮会。
10月19日(木)	ササ刈り他 第三伐区のササ刈りをする。
11月7日(火)	ササ刈り他 第五伐区のササ刈りをする。
11月17日(金)	ササ刈り他 第六伐区のササ刈りおよび遊歩道の整備をする。

- 注1)集合場所:岩元山国有林「ふれあいの森」
- 注2)集合時間:現地9時15分、愛子駅9時
- 注3)持ち物等:持ち物等:昼食、飲み物、作業に適した服装、下着等の着替え、タオル、 軍手、作業靴、帽子等
- 注4) 作業は天候等により、変更になる場合があります。

また、進捗状況により、加除する場合がありますので、参加者は事前に忍頂寺 (372-7062) までご連絡下さい。



ヒメギフチョウ



ニメギフチョウの

# 平成29年収支予算

自:平成29年1月1日 至:平成29年12月31日

前年繰越金 596, 149円 収入の部 300, 100円 支出の部 896, 249円

収入の部 (単位:円)

項目	前年実績	今年予算	内 訳
前年繰越金	580, 210	596, 149	
年 会 費	126,000	130,000	1名 @1,000
カンパ	94, 389	100,000	
親しむ部会参加費	55,400	50,000	行事参加料
ふれあいの森部会参加費	21,000	20,000	行事参加料
雑 収 入	7, 222	100	受取利息
合 計	884, 221	896, 249	

支出の部 (単位:円)

			(1   二   1   1   1   1   1   1   1   1
項目	前年実績	今年予算	内 訳
総務部	17,707	30,000	総会資料コピー等
保護部会	0	100,000	調査費等
親しむ部会	43, 503	50,000	保険料、写真代,下見代等
ふれあいの森部会	61, 566	70,000	草刈機使用料、蜂駆除費用等
広報部会	128,600	140,000	会報発行費用、送料手数料等
事 務 局	12,696	20,000	通信費、案内状送料等
会議費	24,000	30,000	会場使用料等
予 備 費	0	456, 249	
次年繰越金	596, 149	0	
合 計	884, 221	896, 249	

# 蕃山21の会 平成29年役員名簿

会 長	佐藤 正明		幹事	i	水澤	祐子	広報部会長
	佐藤 勉		総務会記	†	二村	信也	会計
副会長	三浦 昭一	総務部会長	監査	Ĺ	及川	晴雄	監査
	忍頂寺晃嗣	ふれあいの森部会長	顧問	1	星	智雄	
幹事	十河 弘	保護部会長			石田	眞夫	
	忍頂寺裕子	親しむ部会長			高橋	義寛	
	浅井 浩雄	ふれあいの森部会			深野	稔生	
	遠藤 充	ふれあいの森部会			鈴木	宏一	

# 「新世代のクマ」について

仙台森林管理署長 齋藤 哲

昨年は、ツキノワグマに関する報道が特に 多かった年でした。これを裏付けるように、 宮城県内での出没数は1,584件(2016.12.1現 在)で、2015年度(504件)の3倍以上でした。

増加の要因としてよく耳にするのは、山にあるブナなどドングリ類の実が、昨年は凶作だったということです。つまり、出没数は実が豊作だと少なく、凶作だと多いということであり、東北地方ではドングリ類の豊凶とクマの出没数には何らかの関係がある事が経験的に知られています。

年度	2011	2012	2013	2014	2015
豊 凶	凶作	並作	豊作	凶作	並作
出没数	262	908	512	904	504

確かに、出没数が多かった2014年度も凶作ですし、2012年度は並作ですが凶作に近い状況でした。

しかし、何れも凶作だった2011、2014、2016 年度の出没数が262→904→1584と急激に増え 続けていることは、ドングリ類の豊凶だけで は説明がつきません。

そこで、もう一つの要因として、クマの生息域の拡大が考えられています。研究者などでつくる日本クマネットワークが2014年に生息域を調査した結果、環境省の2003年調査と比べて全国的に拡大しており、市街地の近くまで迫っていたとのことです。

以前は、狩猟者が多く、人は怖いものと刷り込ませていましたし、クマが生息する山と人が生活する市街地との間には、手入れされた農耕地や里山があり、クマと人の境界の役割も果たしていました。

しかし、農山村の過疎化・高齢化と耕作放 地・未整備里山の増加により、クマが市街地 近くまで出没するようになりました。加えて、 狩猟者が減少しており、人を恐れず、人を見ても逃げない「新世代クマ」が増えていると 考えられています。

このため、山に入る際は、①鈴など音が出るものを身に着けて人の存在をクマに知らせること、②クマは藪(茂み)に隠れながら行動するので藪には入らないこと、③出合ってしまった場合は背中を見せずにゆっくり後ずさりして離れることなどの注意喚起が行われています。私ども仙台森林管理署では①~③に加えて、④出来るだけ複数で行動すること、⑤「クマ避けスプレー」を携帯することを心がけています(「クマ避けスプレー」とはトウガラシの辛み成分であるカプサイシンをクマの目や鼻に噴出して追い払うもので、噴射距離4~5m程度)。

一方で、クマは、木に登り、木の実や果実のついた枝を折ってたぐり寄せ、集めた枝を座布団のようにお尻に敷きます。これを「クマ棚」と言います。クマ棚の周囲には枝葉のない空間ができ、そこから光が森の中に差し込み、植物が育ち、花が咲き、虫や鳥が集まり、生物多様性が形成されます。

このように、クマが生物多様性に貢献していることも認識した上で、新世代クマとの共存方法を考えることが必要です。

「蕃山21の会」の皆さんが行われている下 刈は、造林木を守るだけでなく、藪化を防ぎ、 新世代クマに人との境界をわからせ、市街地 への侵入を防ぐ役割も併せ持つ、大事な作業 と言えるのではないでしょうか。

(※) データなど、より詳しく知りたい方は、 国立研究開発法人森林総合研究所、宮城 県庁のそれぞれのホームページをご覧く ださい。

# イノシシとシカと私たち

森林インストラクター会みやぎ事務局長 相澤 孝夫

#### 1 野生の獣と私たちの生活域

イノシシによる農作物への被害、ニホンジカ (以下、シカ)による森林生態系や林業への影響など、私たちと野生獣類の生活域が重なりつつあります。

野生の獣類のことをわかりやすく伝えるためには、生息、数、や被害量などの把握が重要です。しかし、森林内に生息する獣の量を正確に捕らえることは至難の業です。国や地方自治体から公表される数値も正確とは言いがたいのですが、一つの目安となります。

#### 2 イノシシ

宮城県でのイノシシによる農作物被害が急増したのは、平成10年からです。丸森町がわが国のイノシシの北限でしたが、阿武隈川を渡ったのもこの頃だと思われます。

現在の分布北限は日本海側で秋田県上小阿仁村、太平洋側で岩手県盛岡市です。宮城県内では、奥羽山系の全ての市町で生息が確認されています。

イノシシは多雪地域では餌を確保できない とのことで、地球温暖化による降雪量の減少 と、高齢化によるハンターの減少により分布 域を拡大したといわれています。

宮城県内での平成27年度の農業被害額は7千4百万円に及びます。県では、平成23年度の生息数2万5千頭を平成35年度までに4割減らす計画です。

私が蕃山でのイノシシの痕跡を見たのは平成18年でした。このとき、国道48号を渡って北に行くのは難しいと思っていましたが、あっという間に北上しました。

2年前に白石市の竹林でイノシシによる被害状況を見ました。モウソウチクの小さい芽を冬に掘って食べるのです。深さ50センチメ

ートル程度の円錐形のアリジゴクのような穴が竹林のあちこちにあるのです。 タケノコの 芽は柔らかくておいしいのだそうです。 地中深いタケノコの芽をピンポイントで探り当て るイノシシの術には驚きました。

#### 3 シカ

宮城県内では三陸沿岸の市町にシカが生息 しています。最近、世界遺産の白神山地でも 生息が確認され、森林生態系への影響が懸念 されています。

県内での生息頭数は平成19年に1千頭を超え、平成24年には5千百頭に達したと推測されています。

シカの食性には嗜好性が見られ、牡鹿半島にはシカの大好物であるアオキの姿は既になくなったようです。大好きなミズキの樹皮にも必ず摂食痕が見られ、防護対策が取られていない農作物や、植林したスギやヒノキは食べ尽くされます。シカの生息頭数の正確な把握は非常に難しいのですが、シカ道や糞の有無、ササの食痕、不嗜好性植物の多少、草本の高さなどでシカによる影響の大小を評価することができます。また、伐採跡地では土砂崩壊が起きますので、牡鹿半島付近に行ったときにご覧ください。

# 4 もののけ姫に見る野生の獣と 私たちの歴史

古文書によればイノシシもシカも江戸時代には東北全域にいたそうです。

これまでの生息域が狭まったり広まったり 変化しているのは、どうやら私たち人間との せめぎ合いによるものが大きいようです。

江戸時代には県内各地に野生鳥獣から私たちの先祖が生活を守るためにだいぶ苦労し、

地域によっては見張り番を置いていたようです。 宮崎駿作品の映画「もののけ姫」にも見張り番やせめぎ合いが描かれています。

一つの過渡期である今、私たちには観察眼を鍛えて生物多様性について考え、できることから実行していくことが重要なようです。



ニホンジカ

# 『リアスの森便り』 VOL. 13

南三陸町 後藤 一磨

2017年が明けた。今年はどんな年になるのだろう。

リアスの森は眠りから醒め出す気配を見せている。昨年、南三陸町では木材の国際認証(A・F・C)を取得した。未だ一部のグループによるものだが、認証を受けた町産材を、東京で開催されるオリンピックのメイン会場の建築材として使って頂くことを目標にしている。彼等のグループから南三陸町で保護育成すべき森と、保護と活用の方法について聞かれ、17ヶ所の森を推挙した。この中には、国立公園地内の島々や海岸林、国有林の一部、そして20年前に町が条例で決めた正鵠(せいこく)の森も入っている。

森は多様な役割を担っている。経済林として木材を生産するための森であっても、植林から成長を見守り伐採されるまでの過程で、水源涵養や鳥獣の棲家、昆虫の生活の場とな

っているし、木は二酸化炭素を吸収し酸素を 吐き出しながら材を太らせている。

三陸海岸の山地は、高い山は少なく千メートルに満たないなだらかな里山が多い。その里山にはイヌワシが棲むことでも知られているが、近年そのイヌワシに危機が訪れている。繁殖が確認されず絶滅の危機に堕いっているというのだ。原因は何か?。調査の結果見えてきたもの…それは里山から人の活動が消えたことだったのである。何是里山から人の活動が失われたのか?振り返ってみよう。

昭和40年代前半まで南三陸に暮らす人々は 自然に支えられ、自然のサイクルの中に人間 も居る生活だった。家は木と土壁などで造ら れ、屋根は街場を除けば萱葺きだった。田畑 で米・野菜・雑穀を作り、海からは魚類と海 藻を採り食糧のほとんどが自給状況だった。 足りない分は海産物と米を交換する"おかあ きない"を主婦たちが行い充足した。農耕や木材の搬出には牛馬が使役され、その飼料は山の草刈り場から得ていた。糞尿は肥料として使った。燃料は薪と炭でこれも自給だった。

換金作物は米・麦・養蚕、海でのかきや海苔の養殖と鮑やうに漁と市場出しの魚類だった。現金収入は少なく、お金で取引されるものは自給できないものだけと少なかった。正に自給自足の経済であったから、山・里・海が人々を支えていた。各集落に草刈場や萱場があり、山は番繰り山と呼ばれる活用の仕方で、薪・炭を得るため30年程の周期で伐られ利用されていた。針葉樹は少なく、雑木林が多かった。この事が低地の里山に猛禽類のイヌワシが棲める環境をつくっていたのだ。伐られた山林や萱場・草刈り場が小動物の育り場となっていたのである。

昭和30年代後半から高度成長時代が始まり、 様相は一変した。牛馬に代わり耕運機や自動 車、燃料は石油、ガスが主力となった。新生 活・文化生活がさけばれ、自給経済は大量消 費経済へと移行、全てがお金との交換となり 価値あるものは金になるものと人々は思うよ うになっていったのだ。お金を得るべく人々は出稼ぎや遠洋漁業の船乗りとなった。山は生活の手段としての生活の場所ではなくなり、追討ちをかけるように円の変動相場制移行がされ、安くなった外国産材が輸入された結果、人々の心は山から離れていった。放置された山は荒れ放題。イヌワシの餌場はなくなり、彼等もこの地では暮らせなくなってしまったのだ。

人々の生活に活用された森は多様な環境を 生み、生態系の頂点にあるイヌワシを支えた。 人と自然のせめぎ合いが多様な森をつくり、 イヌワシの棲める大地となったのである。人 もまた自然の一部であることを感じる。

2011年発生した東日本大震災で人々は家を失うこととなったが、これを契機に自然へ目を向けるようにもなった。7年目を迎へ防災集団移転地には次々と家が建っている。私たちは「木の家づくり互助会」を立ち上げ、地場産材で地域の大工さんに家を造ってもらう活動を始めたがなかなか浸透しない。人々の心をお金から自然に向けさせるのは大変な作業である。A・F・C認証が若人の目を森に向けさせるきっかけとなることを願っている。



志津川湾 (写真提供:宮城県観光課)

# Nowhere, Now Here

仙台市 山崎 泉

冬の蒼穹に指を伸ばす梢のフラクタルな形を眺めることは毎朝の日課になっているが、そんなとき、時々思い出す光景がある。高校3年のときの授業の光景だ。ミッションスクールのため聖書の授業は必須だったが、あるとき珍しく当時の校長が聖書の講義を行った。年に1回あるかないか、とても珍しいことだった。

その授業の中で校長は「Nowhere どこにもいないということは、Now Here 今ここに居るということと同じである」と熱を込めて話したのだった。聖書の時間であるから、「神」について語っていることは確かだったが、私の中では「神」についての内容としてではなく、この相矛盾する存在論を神秘的な言葉として響いた。

尖った梢の先に広がる蒼穹から何故この光景に思い至るのかは分からない。頭蓋の中のニューラルネットワークがランダムアクセスするのか、突然想起されるのだ。この記憶のメカニズムは後で書く「量子力学」と無関係ではないようだが…。

大学に入ってから、聖書の知識はドストエフスキーの作品を読むときに大いに役立ったが、「神」の存在を信じるものではなかった。しかし「Nowhere, Now Here」という言葉は、決して解くことの出来ない命題として何かの折につけ、不図、想起されるのだった。

冬は、概念の季節である。あるいは抽象の 季節である。

青々とした若葉の季節から深い緑に季節を変え、やがて幹の先に隠したフラクタルな指先をあらわにするこの季節は、いつもながら透明な季節となる。無類の寒がりだが、この季節は、頭蓋の中の熱を冷やし、思考をクールダウンしてくれそうな気がする。

後年、宇宙史に関心が深まるにつれ138億年の中のほんの数秒に過ぎない人類の歴史の中で、そのまたほんの数秒に過ぎない2000年程度前に誕生したものが天地を創造した「神」などというのは笑止千万でしかなかった。「神」の存在は別として聖書は面白かった。特に「マタイ伝」は吉本隆明氏が『マチウ書試論』で読み解いたように「心情の律法」として読むと、人間が追い詰められたときに生き延びるための心情の処理法として理解できる。しかし「神」の存在とは別物である。

それからずいぶん長いときが過ぎたが、昨年、ぶらりと訪れたジュンク堂の書棚に『量子力学で解く生命の謎』というタイトルに惹かれ手にしてみた。不思議なもので、書物とは潜在的に引き寄せる力があって手に取られることをじっと待っているようだ。量子力学など理解できるような物理の知識など持っていないが、何か惹かれるものがあって買い求めることにした。

量子とは、粒子であると同時に波動(光のようなもの)の性質を持つ。観察されないときに量子は「ここにいると同時に宇宙のどこにでも存在」するが、観察されたときには「そこにしか存在しない」

「Nowhere どこにもいないということは、 Now Here 今ここに居るということと同じ である」

この言葉と呼応したのだ。

その実態を観察することは不可能だが理論的にその存在を認めないと宇宙の成り立ちが(物質の成り立ちと言い換えてもよい、生命の成り立ちと言い換えてもよい)が説明付かないという。左右に回転すると同時に上下にも回転する…もはや理解不能である。

しかし気になる。しかし理解不能。

ただ何故、量子論と何十年も前に聞いた 「Nowhere, Now Here」が似てるのだろう?

1年が巡るたびに思うことがある。自転と公転を繰り返すことが私たちの時間である。「空間の運動を時間」と呼ぶ、とは古典哲学の謂いであった。地球が約365回太陽の周りを回ると1年である。そうやって考えるとこれまで地球は太陽の周りを1兆6400億回以上回ってきたことになる。家人に話すと「だからどうしたの?」と言われるだけだが…。

年々不思議さが増すのだ。私たちの知識な ど「自然」から見ればそれこそ笑止千万に違 いない。だが、どこからどこまでが「自然」で、 どこからどこまでが「反自然」あるいは「非 自然」なのか。目の前にそそり立つ樹木は「自 然 なのか、山を被う森は「自然」なのか、 そして森の中に居ると何故ほっとするのか、 私たちに気付かれぬよう身を潜める森の住民 たちは「野生」のままなのか――私たちは森 を見るが、森は私たちを見ているのだろうか。 勿論、「見る」と言っても人間の視覚とは見 え方が異なるのは当然だが、3D映画の『ア バター』に重要なテーマとして登場する「魂 の木」と、このプラネットに生息する全ての 植物が電気信号を使って交信し、その交信に よって生態系を維持するように、この巨大な 神経ネットワークの総体で私たちを見ている ように思われる。森はフィトンチッドを発散 して微生物からその身を護るように、侵入者 の存在を観察してるのではないだろうか。私 たち人間はその殺菌力を持つ有害な化学物質 であるフィトンチッドを「香り」として嗅い で安らぎを感じる。

何故フィトンチッドが私たちに安らぎの香りとして感じられるのか?このメカニズムにこそ「量子力学」が関係してるという。森の大気中に漂う何百万、何千万のフィトンチッド分子が私たちの鼻腔粘膜に捉えられ、そこから脳のニューラルメットワークにより「香り」と判断されるがこのメカニズムが「古典的な物理学」では説明できず、量子の「Nowhere,

Now Here 的な挙動が深く関係していると いう。イメージとしては捉えられるが挙動の 実態はとてもじゃないが理解不能だ。イヌが 何キロも同じ匂いを嗅いで経路を辿れる能力 やサメが1滴の血の匂いを嗅いで餌を見つけ る能力は良く知られていても、そのメカニズ ムとなると量子力学の力を借りないと説明不 可能であることも知った。匂いとは物質であ る。その物質が地面や水中にずっととどまっ ているとは考えにくい。例えばイヌ。イヌは 何キロ離れていても特定の臭いを嗅ぎ分けて トレースできるというが、仮に私の匂い物質 が体中から発散されていてもその臭い物質 は風で飛散し、空間中にとどまるとは考えに くい。足跡の匂いから辿るとしても、そもそ も靴底まで特定の匂い物質が浸み込んでい るものだろうか。そのあたりの説明も量子力 学では可能だという。原子を形成する電子・ 中性子・陽子の挙動は量子力学の法則では [Nowhere, Now Here, Everywhere] であ るから説明がつくという。光が一面を照らす 波のような性質を持つように量子も粒子と 波の性質を有するなら、匂い分子を形成す る原子の挙動が量子力学の法則では確かに [Nowhere, Now Here, Everywhere] 24 うことになる。すると空間で飛散したはずの 私の匂いがイヌの嗅覚では判別しトレースで きるということになる。

いつもの癖で脱線に脱線を重ねてしまう (汗)。

確か、樹木の枝先から、その集合である森について、そして『もののけ姫』に登場する「こだま」(モデルはアメーバのように動き、キノコのような子実体に姿を変える粘菌だと思う)に想いを馳せていたはずなのだが…。

今日は空からどんな想いが降ってくるのだろう。私の思考電子は宇宙の果てと「ここ」に同時に存在しているのだろうか。分かっていること、確かなことは一つ、家人に話すと「それでどうしたの?」と言われることだけである。

# 山に親しむ

# 名取市 **那須 京子**

長いこと山に親しみ、高齢となった今も歩き続けてきたのは、普通の暮らしの中でほどよく節目を経てきたことが幸いしたようだ。

一介の主婦が家事をこなしながら登山を楽しむとなると、しっかりした登山グループに入り、山行は日帰りとなる。運良くそうした山の会と巡り合いそこで山の歩き方を学び、鍛えられた。ある程度歩けるようになり、知人(旅行会社のコーディネーター)の誘いに応じてツアーに参加するようにもなった。

平成17年 (2005年)、屋久島の宮之浦岳 (1936m) 登山ツアー (11月1日~4日仙台 発着) に誘われ加わった。参加者は10人未満、大方が初顔合わせだった。標高2000m弱ながらアプローチが長く簡単ではない。

飛行機を乗り継ぎ現地入りした一行は、み なが行くぞ!の気合十分で不安はなかった。

暗いうちに島のホテルを出発、朝明るくなった入り口の広場で現地ガイドの男性と合流した。見るからに山男の風貌、挨拶を交わした後「この中に70歳以上の方はいますか?」の問いに男性が一人「ハイ、わたしです。」と応じた。「70歳以上の方は行けません。残ってください。」ときっぱり言い切った。厳しい口調に誰もが黙ってしまった。「では出発します。」の言葉で歩き出した。

コーディネーターとその男性は居残った。 一行はガイドの後に一列縦隊になり続いた。 私達の前も後ろも他のパーティーがつながり、 皆粛々と足を運んだ。不注意から事故を生じ てはならないという思いで会話もせず、ただ ひたすら前へ前へと登り続けた。やがて山頂 へ到着、山頂は大きな岩がごろごろしていた。 ガイド氏の周辺に各々散らばり岩に腰かけ昼 食を済ませた。他のパーティーも山頂で騒ぐ 人はおらず静かな時を過ごしていた。

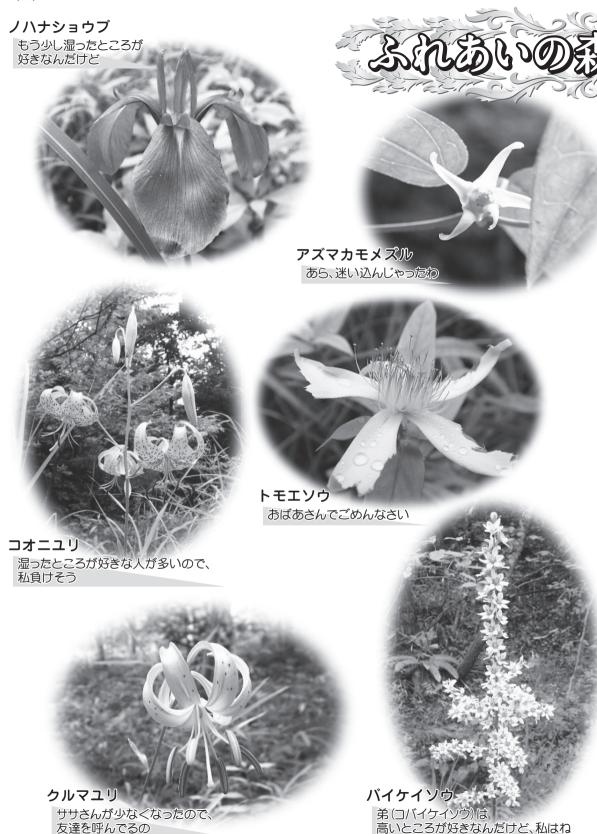
一行の皆が食べ終わった頃合で、ガイド氏 の「これから下ります。」の一言。復路は別 のコースを下りた。下りの山道の景色、山頂の様子などの記憶は薄く、フイルムも残っていない。今になれば残念な思いだが仕方がない。ガイド氏のテンポに従い淡々と歩き続けたことが幸いし、疲労が残らず爽快な気分で終わった。出発地点に戻りコーディネーターと合流した。

忘れ難い山行であった。そして一つの指針をもらった。私はこのあと、70歳以降に、高山から低山そして里山へと軸足を移していった。里山のグループをさがし、何度か一緒に歩き、高山へのこだわりを薄めていった。そうして模索を続けているなかで「蕃山21の会」を知り、今に至っている。里山を歩くようになって、自分が木、草、花などの名前を知らず、情けないやら恥ずかしいやら悲しい思いをした。一度で覚える年齢から遠のき、今は単純に四季の移り変わりを楽しみ、喜びとしている。

老化による体の衰えを知って以来、ガイド氏の70歳で区切ったことの理由がわかった。多くの事故を見、救助作業に労した体験から判断されてのことだったと思える。視力の低下も影響することだ。山に入ったら全てが自己責任であるが、同行者の立場もあったことだろう。

里山ならまだ行けると決めても、急斜面では息切れする、苦しい、足運びがガクッと落ちる。山はもう止めようと思う。しかし里に戻ると、声を掛け合う友、昼食を分け合う友、痛む膝をかばいながら歩く友、あの優しい顔を手放すのは寂しい。

すでに家事も負担になってきたところだが、 あと一年、もう少しやってみようか、登らず とも山を眺める旅はどうだろう、などと思い を引きずっている。ザック背に同行の旅仲間 と歩きたいものだ。





# 囲碁と私

仙台市 舩渡 恒男

NHK大河ドラマ「真田丸」で幸村(信繁)の父、昌幸が戦国武将らと囲碁をしているシーンがあった。 我が家にも古ぼけた碁盤があり、歳の離れた兄が友達と碁をよくしていた。小学生の私はそばで見ている中に自然と碁のルールを覚えたものの、特に打ち方を教えてもらうこともなかったし、碁をする機会はあまりなかった。

大学に入ると医学部学生食堂に碁盤が置いてあったことで、昼休み、碁を覚えたての友らを相手に対戦する様になった。石を取りに行くという、攻めまくる一方のけんか碁が面白くて仕方がなかった。

入局した整形外科は碁が結構盛んで、5段格の先輩が2~3人いたので上達したい一心から碁の本を求め、勉強する様になった。すると攻めばかりでなく、守りも必要、大局的見地から眺めることの必要性を学ぶことができた。

東京で学会があれば、日本棋院に立ち寄って、大会に参加し、3段、4段、5段の免状を順々に取得することが出来た。

それ以降、生活から碁が離れたことはない。数年前までは毎年、1月3日、今はもうないホテル仙台プラザの新春囲碁サロンに参加することで正月が始まり、安倍吉輝九段(石巻出身、平成21年没)実娘、岡田結美子女子プロの指導碁などにも出会



えんりょう 艮 陵 囲碁会 対局が終わった後の懇親会





えた。

週末は仙台一番町ユニバースホテルにあった碁会所によく通っていたが、時代の流れで、囲碁人口が減り、碁会所も閉鎖。私自身もパソコンユーザーになり、ネット碁に移行した(ロボット相手ではなく、外国人を含む会員と対戦)。

さて、昨年(平成28年3月)AI (人工知能)「アルファ碁」が世界最 強のプロ棋士、韓国の李セドル9段 に4勝1敗と勝ち越し、人間を越え たと思わせた。日本でも「デープ ゼン碁」がプロの趙治勲名誉名人に いどみ、1勝した。これからは人間 がAI(人工知能)とともに学習、 成長する時代になったようだ。私も 蕃山21の会に参加し、体力を維持し つつ、相手に勝つぞと気力を持って、 新時代の碁に精進したいと思ってい る。

ところで仙台出身の一力 遼7段 (19歳) は昨年、竜星戦で井山裕太 棋聖を破り、タイトルを獲得して話題になった。本人は世界トップと国際棋戦で活躍する姿を見せることで被災地の人を勇気づけたいと発言し、才能だけでなく、気持ちも大きく、なかなかの好責年だと感心している。

この先、時間に余裕ができたら、 本因坊道策(江戸時代、実力13段、 従来の力戦から調和を重視した合理 的な打ち方で、近代囲碁の祖と呼ば れる)の棋譜を8寸盤(兄のかたみ、 岩本薫和本因坊の揮毫)でじっくり 並べてみようと楽しみにしている。 私の人生が少しでも楽しく豊かにな ったとすれば、碁との出会いがあっ たからと言えるかもしれない。 在一十一十一一十一连平成32年一月37日



一力 遼君の最年少3大リーグ入りと国際棋戦初優勝を祝う会 平成26年6月27日 KKRホテル仙台



ジャンボ囲碁大会に参戦 平成24年2月26日 日本棋院 幽玄の間

# $\lceil 1 \ 0 \ 5 \rfloor$

仙台市 前田 陽一

この数字は、昨年(2016年)登った山の数である。一昨年(2015年)は71座。

一昨昨年(2014年)は、うーん?覚えていない。人の後に続いて登る事に必死で全く余裕がなかった。

実はこれだけ行くようになったのには理由がある。

一昨昨年の4月までは、妻と一緒に温泉旅やテーマパーク巡りそしていろんな花園観賞など積極的に出かけて楽しむのが二人共通の趣味であった。(4月初旬にも九州の湯布院や福岡観光等を楽しんでいた) それが、その年(2014年)の4月24日に妻が「くも膜下出血」で突然他界してからというもの毎日何もする気になれず、外出して人と会うのも嫌で殆どというもの家に閉じこもりがちだった。

どういう切っ掛けだったか忘れたが、旅行会社企画のトレッキングに参加するようになった のがその年の9月頃だったと思う。山登りは初めてではなかったが登り終えた後の達成感と何 となく気分がスッキリする事が嵌まり本格的に山登りをするようになった。

また、数多くの山にも登りたいと思うようになった。

昨年登った山で県内は、金華山、薬莱山、刈田岳、馬ノ神岳、青麻山、後烏帽子岳、オボコンベ山、寒風山、屏風岳、三方倉山、大東岳、蛤山、七ツ森、他多くの里山(うち泉ヶ岳は21回)。 県外は、蓬田岳、面白山、安達太良山、姫神山、半田山、鞍掛山、葉山、磐梯山、燧ヶ岳、 笙ヶ岳、岩手山、月山、飯豊本山、倉手山、瀧山、至仏山、秣岳、山形神室、早池峰山、花渕山、額取山、高尾山、塔の岳(丹沢山域)、筑波山等。

その中でも想い出に残る県内の山は、真冬カンジキ山行した刈田岳、熊と遭遇したオボコンベ山、以外と長路の雪残る寒風山、景色が最高の屛風岳、白ヤシオ満開の三方倉山、長々路の大東岳、急登で侮れない七ツ森等がある。

県外の山では、強風雪中登山した面白山、残雪の安達太良山、岩手山が綺麗に見えた姫神山、 長すぎて草臥れた感の葉山、人だらけの磐梯山、二日酔いで登り切った燧ヶ岳、素晴らしい花 園の笙ヶ岳、長くて侮れない岩手山(でも山頂は別天地)、好天絶景の月山、

奥深い飯豊本山への二泊三日の絶景山行(写真↓)、





尾瀬ヶ原と燧ヶ岳が綺麗な蛇紋岩の至仏山、視界不良と強風の秣岳、晩秋・独り占めとなった早池峰山、

そして今一番人気の塔の岳 (富士山が綺麗に見えた) (写真↓)等。



荻原富士子

小林くに子



今では、山に登る事が生きがいになっている(他の趣味は全部休止中)と同時に毎月通院して調べている内科的(肝機能他)な数値も山登り効果で健康体そのものになった。

だから今年も人気の山(雲取山2017m)をはじめ出来ればアルプスの山々2~3座にも挑戦してみたいと思っています。

今年も諸先輩の皆様のアドバイスをいただきながら楽しい山歩きを楽しんでいきたいと思いますのでどうぞ宜しくお願いします。物書きが下手なので読み辛かったと思いますがご容赦ください。

# カンパありがとうございました

赤坂 勝洋	小野 郁子	齋藤 昭子	佐藤 保洋	高橋 克	水澤 祐子
浅野 進	菅 恵子	寒河江 昭	三条 臣良	高橋 邦夫	嶺岸 實
井澤とみ子	木村 フジ	寒河江せつ子	鹿野喜栄子	高橋 基明	吉川 昭壽
伊藤 俊子	黒田 幸夫	佐々木 壽	柴田 貞夫	高橋 建一	我妻 ふみ
伊藤 平次	桑折 達雄	佐々木美智子	清水 千佳	徳田 洋子	元旦登山者
井野川登久夫	小出 湧子	佐竹 信治	庄子 英文	中島 正二	
大泉 珠子	小島 妙子	佐藤 邦子	鈴木 祥三	舩渡 恒男	
小川 直人	後藤 一塵	佐藤 尚注	関 幸子	松木 愛子	

十河

三浦 昭一

佐藤

正明

# 蕃山21の会会則

## 第1章総則

#### 第1条(名称)

この団体は、蕃山21の会(以下「当会」という) と称する

#### 第2条 (事務所)

当会は、主たる事務所を総務部役員宅におき、事務局を兼ねる。

#### 第3条(目的)

当会は、蕃山及びこれに連なる優れた自然環境並びに自然と一体となっている文化・社会・歴史環境に配慮しながら自然を保全し、多くの人々が自然に親しみ新たな緑の文化を創造して、将来の世代に引き継ぐことを目的とする。

#### 第4条 (事業)

- 1 当会は、第3条の目的を達成するために、 次の事業を行う。
  - (1)蕃山及びこれに連なる自然環境及び文化・ 社会・歴史環境の保全活動
  - (2)多くの人々が蕃山及びこれに連なる自然に 親しむ活動
  - (3)新たな緑の文化を創造する活動
  - (4)自然の生態系などの調査・研究
  - (5)自然保護に関する普及・啓発
  - (6)ガイドの指導・養成
  - (7)諸団体との連絡・協力・提携
  - (8)自然保護基金の設置・運営
  - (9)そのた当会の目的を達成するために必要な事業
- 2 当会は、原則として政治上・宗教上の活動はしない。

# 第2章 会 員

#### 第5条(会員)

当会会則の目的(第3条)に賛同し、入会を申し込んだ者は、会員となることができる。

#### 第6条 (年会費)

年会費は、1,000円とする。

#### 第7条(資格喪失)

会員が、次の各号の1に該当する場合には、 資格を喪失する。

- (1)退会したとき
- (2)死亡したとき
- (3)役員会で退会の認定をしたとき
- (4)会員の住所が不明になったとき

(5)会費を三年間継続して未納したとき 第8条(退会)

会員は、いつでも退会届を提出して退会する ことができる。

第9条 (会費の返還)

既納の会費は返還しない。

## 第3章 役 員

#### 第10条(役員の種類)

当会に次の役員をおく。

会 長 2名以内

副会長 3名以内

#### 第11条 (選任及び任期)

- 1 役員は総会において選任する。
- 2 任期は2年とする。ただし、再任を防げない。

役員会は役員が欠けたとき又は業務の執行上 必要があるときは、役員を選任することがで きる。

#### 第12条 (職務)

- 1 会長は当会を代表し、その業務を統括する。
- 2 副会長は、会長補佐し、会長事故あるときその職務を代行する。
- 3 幹事は、当会の業務を執行する。
- 4 監事は、当会の会計を監査する。

#### 第13条 (報酬)

- 1 役員は無報酬とする。
- 2 役員には費用を代弁することができる。

## 第4章 総 会

#### 第14条 (種別、時期、招集及び権限)

- 1 定期総会と臨時総会とし、総会は会員をもって構成する。
- 2 定期総会は、年1回、会計年度終了後3ヶ 月以内に開催し、会長が招集する。
- 3 臨時総会は、役員会が必要と認めた時又は 会員の10分の1が議題を示して請求したと き、1ヶ月以内に会長が召集する。
- 4 総会は、この会則において定めある事項の ほか、当会の運営に関する重要事項を議決す る。

#### 第15条(議長、議事録)

- 1 議長は、その総会において選出する。
- 2 議案は、出席会員の過半数で決する。可否同数の時は、否決とする。
- 3 総会の議事については、議事録を作成し、 議事録署名者の承認を受ける。議事録は事務 所に備えおく。

### 第5章 役員会

第16条(構成、招集、権限)

- 1 役員会は、役員をもって構成する。
- 2 役員会は、会長が必要と認める時、召集する。
- 3 役員会は、この会則で別に定めるほか、次 の事項を決議する。
  - (1)総会に付議すべき事項
  - (2)総会で決議した事項の執行に関する事項
  - (3)その他総会の議決を要しない業務の執行に 関する事項

#### 第17条(部会)

1 当会の業務を円滑に執行するため、次の部会をおく。

総務部会、保護部会、親しむ部会、広報部会。

2 役員会は、必要に応じ特別の部会をおくことができる。

#### 第18条 (議長)

役員会の議長は、会長がこれに当たる。

#### 第19条 (議事録要旨)

重要な事項について議決したときは、議事録 の要旨を作成する。

# 第6章 顧 問

#### 第20条 (顧問)

- 1 当会に顧問をおくことができる。
- 2 顧問は、総会の決議により会長が委嘱する。

# 第7章 資産及び会計

#### 第21条 (事業年度)

当会の事業年度は、毎年1月1日に始まり、 同年12月31日に終る。

#### 第22条 (資産及び支弁)

- 1 当会の資産は、年会費、寄付金、事業収入、 資産から生ずる収入、自然環境の保全及び活 用のため取得した土地等の財産、その他の収 入をもって構成する。
- 2 自然環境の保全及び活用のため取得した土

地等は、その保全に支障のない範囲で一般に 公開するものとする。

- 3 当会の経費は、資産の額を越えて支弁して はならない。
- 4 毎事業年度の収支計算における差額は、翌 事業年度に繰り越すものとする。

#### 第23条 (決算及び監査)

- 1 会計担当の幹事は、毎事業年度の終了後遅滞なく、決算書を作成する。
- 2 会長は、決算書を監事に提出して監査を受けなければならない。
- 3 監事は、監査し監査報告者を作成して、総 会に報告しなければならない。

#### 付 則

- 1 この会則は、平成6年9月23日から施行す る。
- 2 平成6年度の決算は、平成6年9月1日か ら平成7年6月30日までとする。
- 3 平成9年10月26日に、第2条、第10条、第 17条、第23条1項を改正。同日から施行。

平成9年度の会計年度は、平成9年7月1日から同年12月31日までとする。この決算は、平成10年度分と一括して平成10年度(平成11年1月から3月までに開催)の定期総会の承認を受けるものとする。

平成9年の定期総会は、特別のことのない 限り開催しない。

- 4 平成12年3月16日に、第3条(目的)、第4条(事業)、1項(1)(2)(3)(4)、第6条2項(年会費)、第10条(種類)、第12条3項(代表幹事)、第25条(決算監査)を改正。
- 5 平成13年3月15日に、第2条(事務所)を 改正。
- 6 平成20年3月23日に、第5条(会員)、第6条(入会)、第7条(資格喪失)、第9条(不返還)、第10条(種類)、第11条(選任、任期)、第12条(職務)を改正。第6章協議員会、第20条(協議員)第21条(協議員会)前文を削除。第7章顧問、第22条(顧問)、第8章資産及び会計、第23条(年度)、第24条(資産、支弁)及び第25条(決算、監査)、の各条文を繰り上げ改正する。同日より施行。
- 7 平成28年2月14日に、第2条(事務所)を 改正。

以降は高度経済の成長により、燃料は石保たれてきました。しかし、昭和三十五年の人手が入ることにより環境は同じように現在の西道路になっている場所です。毎年 キリが宿主となり次々と被害が広がりまし 枯死が発生したのです。 置したため、 ました。 されることはなくなり、 油 をくい止めることができていません。この た。対策は枯死した松を切り倒しくん蒸処 たが松を使用するため伐採することなく放 害のうえに、 することですが対策が後手にまわり被害 近年多量の松が枯れる被害が目立ちまし 変わりました。それ以降蕃山の麓は利用 ・ガスに、 マツノザイセンチュウによる 肥料は化学肥料に、 今度は夏頃から蕃山が秋 マツノマダラカミ 荒れることになり 屋根は瓦

# は標高は低いものの、 遠くは奥羽 Ш

の麓は地域の人たちの生活に役立ってきま 様で豊富であるという特徴があります。 に連なり、 面積が広大なため動植物は多

たナラの木にキクイムシの

原因は太くて古くなっ

に枯死する「ナラ枯れ」で 原因は太いナラの木が多量 葉のようになりまし

Ш

れ現象は、ナラの木を薪炭に利用しなくなシに抵抗できなくなります。蕃山のナラ枯 されて又ナラの木が育ちます。つまり人手 位たった木は太く、樹勢が衰えてキクイム 然状態も保たれているのです。 が入ることによって健康的な木が生え、 木を切ると、 ったためです。普通薪炭用には十年程度の 木は若い時は樹勢がありますが六十 根元からひこばえが生じ更新 一種が入ったためです。ナ

した。

一山としての活用は様々ですが、

雑木林

期間利用されてきました。折立地区では、

茅原は茅葺屋根の材料として長

落葉は堆肥として田畑

の肥料に、茅原は茅は薪炭とし燃料に、

保っていくかの知恵をはたらかせることが とは生活状況が違った中でどのようにして 保ってきたのです。近年蕃山は都市に近 行なわれることにより、豊かな自然環境を 生活に役立つよう活用され伐採が定期的に れによって保たれてきましたが、今後は昔 スとして登山する人が多くなっています。 のに自然が豊かであると、ハイキングコー この豊かな自然は全て地域の人々の手入 日本の里山は、昔からその地域 の人々

要であると思います。 山の手入れのために知恵をしぼることが必いくことになると思います。樹木の活用と 対策に早く取り組まないと蕃山は荒れて 樹木の活用と

大梅寺副住職

星

尚 文

集 後 記

会報48号発行にあたり会員より寄稿を頂き、ご協力に深く感謝いたします。今後も皆様の 投稿をお待ちいたしております。

> 里山は季節ごとに私達を楽しませてくれます!! 里山歩きを一緒に楽しみましょう!!

水澤

- 平成29年3月10日 ◆発行日
- 行 蕃山21の会

《事務局・宛先》〒980-0003 仙台市青葉区小田原7丁目5番35号 TEL.FAX 022-223-1479 三浦